

**誰もが楽しめるインクルーシブな屋内外の遊び場**  
**「地域子育て支援センター&キッズスペース にじいろ」をプロデュース**  
**奈良県奈良市 「奈良市子どもセンター」内に新設**

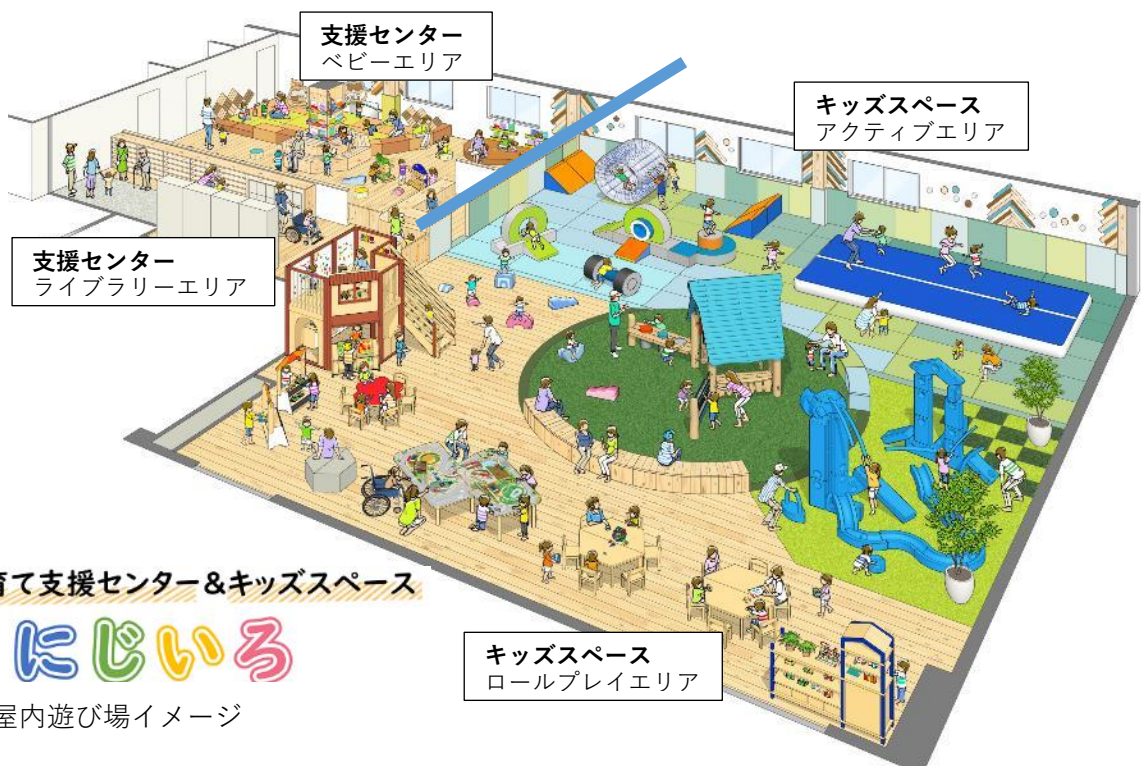
子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売と遊び場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、奈良県奈良市と連携し、2022年4月にオープンした「奈良市子どもセンター」内の、「地域子育て支援センター&キッズスペース にじいろ」（以下、「にじいろ」という。）をプロデュースしました。

**子どものあそびや多世代交流の促進に … 社会インフラとしての「遊び場」を、多くの自治体と開発**

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、子育て中の親の孤立化も課題となっています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内遊び場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働してこれまで全国に60カ所以上のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニティのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

**奈良県奈良市：誰もが楽しめるインクルーシブな遊び場を新設。設備には、奈良市産の木材も活用**

奈良県奈良市は、古くから文化の中心地として繁栄した歴史を持つ、国際的な観光都市です。大阪へのアクセスがよく、公園が整備され、子育て支援制度も充実していることから、子育て世帯の支持を集めています。奈良市は、親子がより暮らしやすい街を実現するために、安心・安全な子どもの居場所や、子育て世帯が外出しやすい環境の整備を進めています。その取り組みの一環として、子育てを総合的に支援する施設「奈良市子どもセンター」をオープンしました。施設内の地域子育て支援センターとキッズスペースの機能を担う、「にじいろ」を当社と連携し、新設しました。



地域子育て支援センター&キッズスペース

にじいろ

屋内遊び場イメージ

キッズスペース  
ロールプレイエリア

この遊び場では、身体的なハンディキャップや発達障がいのある子どもなどを含めたすべての人が、それぞれに合った遊び方で、同じ場所・同じ遊具と一緒に楽しめるよう工夫しました。体を自分で支えることが難しい子どもでも、大人や友だちと一緒に「ゆれ」や「回転」を楽しめる遊具を設置しています。ベビーカーや車いすの利用者が遊びやすいよう幅の広い動線を確保し、段差をなるべく作らず、スロープで遊具へアクセスできるように設計しています。

また、全国有数の優良木材の生産地である奈良市特産に触れる機会が生まれるよう、受付や下駄箱、絵本棚、ベンチ、柱、壁面装飾、ウッドデッキなど多くの設備に、奈良市の木材を使用しました。



複数の子どもが同時に「ゆれ」や「回転」を楽しめる遊具

### 【屋内の2つのゾーンとデッキエリア】

屋内エリアは、ベビーエリア、ライブラリーエリアからなる「支援センター」と、アクティブエリア、ロールプレイエリアやデッキエリアからなる「キッズスペース（屋内遊び場）」に分かれています。音あそびや視覚的なあそび、ジオラマなど、五感を刺激する様々なしかけは車いすに乗ったままでも手が届く高さに設置し、子どもの好奇心に応えます。

#### ● 「支援センター」（ベビーエリア/ライブラリーエリア）

地域子育て支援センターの機能を担う場で、親子で一緒に遊ぶだけでなく、気軽に育児の悩みを相談できる「子育てコーディネーター」を配置しています。ベビーエリアでは、ハイハイ・よちよちの乳幼児期が、五感を刺激して遊べる遊具やしかけを揃えました。ライブラリーエリアでは、ゲーム・パズルや絵本の読み聞かせが楽しめます。

#### ● 「キッズスペース(屋内遊び場)」（アクティブエリア/ロールプレイエリア/デッキエリア）

アクティブエリアには、走る・跳ぶ・回るなど全身を使ったダイナミックな身体あそびが楽しめる遊具を設置しました。ロールプレイエリアでは、想像力や発想力を存分に発揮し、ごっこ遊び・なりきり遊びができる遊具が充実しています。また、外の空気に触れながらゆっくり過ごすことができるデッキエリアでは、親子と一緒に休憩したり、子どもが遊んでいる様子を見守ったりすることができます。親子のあそびをサポートする「プレイリーダー」を配置しています。当社は施設の設計や遊具設置のほか、プレイリーダーの育成・研修などに携わっています。



支援センター及び屋内遊び場写真（ベビーエリア、アクティブエリア、ロールプレイエリア）



## 【屋外広場の3つのエリア】

屋外広場は、「こもれび広場」「静のあそびエリア」「動のあそびエリア」の3つのエリアからなり、それぞれ違った多様なあそびが楽しめます。



### ● こもれび広場

フレキシブルな利用が可能な広場は、広さを活かしたあそびだけでなく、地域の方や企業、プレイリーダー主催のイベントなどにも活用できます。

### ● 静のあそびエリア

乳幼児から未就学児が、くぐる・のぼる・すべるなど、体を使った多様なあそびに挑戦できます。自然を感じながら、砂あそびや水あそびも存分に楽しめます。

### ● 動のあそびエリア

揺れる・回る・はねるなど、様々な動きを取り入れた、全身を使ったあそびができるエリアです。子ども同士のコミュニケーションが生まれるよう、複数の子どもが同時に遊べるブランコやシーソーなどの遊具も設置しています。車いすに乗ったまま回して遊べる遊具も導入しています。



屋外広場写真（静のあそびエリア、動のあそびエリア）

## 奈良県奈良市 「地域子育て支援センター&キッズスペース にじいろ」 概要

- 所在地：奈良市柏木町 263 番地の 2 奈良市子どもセンター2 号館 1 階
- 施設面積：屋内 約 300 m<sup>2</sup>、屋外 約 1400 m<sup>2</sup>
- 利用可能時間：屋内 10 時～16 時（予約制） 屋外 8 時 30 分～18 時（予約不要）
- 休所日：屋内 年末年始、月曜日（月曜日が祝日の場合は開所日とし、翌平日を休所日とする。）  
屋外 年末年始
- 利用対象者：屋内 支援センター：奈良市在住の概ね 0～3 歳児と保護者、妊婦（プレママ・パパも可）  
キッズスペース：奈良市在住の 0 歳児～未就学児と保護者  
屋外 どなたでも利用可
- 利用料：無料
- ホームページ：<https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/132632.html>
- 開業日：2022 年 4 月 1 日（金）
- 電話番号：0742-33-1021
- 運営管理：特定非営利活動法人 Ms ネット、特定非営利活動法人奈良情熱学校

## 自治体と協業したあそび場の開発 事例紹介（奈良県・京都府）

### 奈良県桜井市：地域交流施設 まほろばセンター内「ひみっこぱーく」（2019年5月オープン）



桜井市では、地域活性化のまちづくりの一環として、JR 桜井駅前の商業施設内の地域交流施設「まほろばセンター」をリニューアルしました。多世代が集う場をつくる取り組みに、ボーネルンドが携わり、250坪を超えるあそび場を開発しました。広さを活かして、体を思いきり動かして遊べるゾーンや、絵本をじっくり読めるスペース、子どもを見守りながら大人同士が語り合えるベンチを設置しています。人口5.6万人の同市において、オープンから約半年で来場者数5万人を達成。当初、市が掲げていた年間4万人という目標を半年で優に上回り、子育てに欠かせない場となっています。

### 京都府京都市西京区：「京都市交流促進・まちづくりプラザ」（2020年9月オープン）



京都市は、阪急電鉄とともに阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用し、西京区エリア全体の活性化を目指す「洛西口～桂駅間プロジェクト」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、豊かで活力ある地域社会の形成を目指す「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を、市と協働して開発しました。2024年3月末まで当社が指定管理者となり、京都市や地元のNPOと協力しながら市民の交流や子育て支援、イベントや講座を当施設で企画実施し、「あそび」で人と人、さらに人とまちをつなぐ取り組みを推進しています。オープン以来、半年で、のべ約2万人の市民に利用されています。

#### 【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国64ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では直営のあそび場全国25ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国60ヶ所以上、年間350万人以上の親子が訪れています。

#### 【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部  
担当：西山、村上  
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591  
e-mail [public-relations@bornelund.co.jp](mailto:public-relations@bornelund.co.jp)

#### 【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーネルンド  
TEL:03-5785-0860（月～金 10:00～17:00）